



よみがえる名所

「押上 最教寺とその周辺」

特集展示 文化財保護法施行七十五周年



予告 企画展示

よみがえる名所 押上 最教寺の世界
—かえってきた仏像たち—

令和7年10月4日(土)~12月7日(日)

- ・「嘉永新鰯 本所絵図」
安政2年(1855)改正、文久3年(1863)改/左上
- ・「再刻新版 本所深川細見図」宝暦9年(1759)/右上
- ・「本所猿江亀戸村辺絵図」嘉永4年(1851)/左下
- ・伝・日蓮「日の旛曼荼羅」(最教寺所蔵、パネル展示)

令和7年 5.17(土)~9.7(日)

時 間：午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休 館 日：月曜日(祝日の場合は翌日)・第4火曜日

入 館 料：個人100円・団体(20名以上)1人80円

*中学生以下と身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及び介助の方は無料

すみだ郷土文化資料館

東京都墨田区向島2-3-5
都営浅草線：本所吾妻橋駅から徒歩8分
TEL 03(5619)7034 FAX 03(3625)3431

すみだ
郷土文化
資料館
SUMIDA
HERITAGE
MUSEUM

すみだ
郷土文化資料館
ホームページ



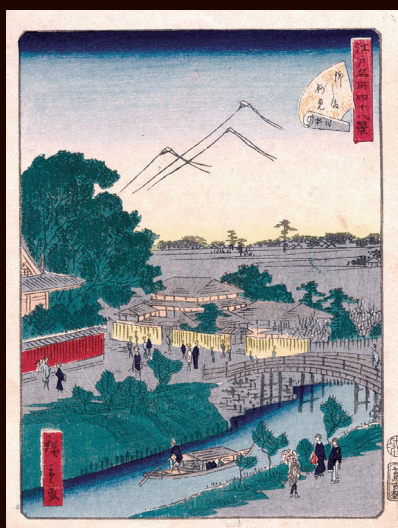
よみがえる名所－押上 最教寺とその周辺－

墨田区は、震災や戦災によって大きな被害を受けました。そのため、近代にいたるまでの間に、多くの寺社が区外へ移転しています。これらの移転した寺社は、江戸時代には名高い名所であったものも多くありました。そして、それらの寺社は、現在にいたるまで、仏像や什物といったかつての「宝物」を大切に守り続けている場合があります。

天松山最教寺もそうした寺院のひとつです。江戸時代には押上の妙見付近にあり、安政江戸地震や関東大震災で壊滅的被害を受けたことから移転し、現在は八王子に所在する日蓮宗寺院です。徳川秀忠の娘・千姫の病氣平癒祈禱によって押上に寺地を得、「江戸名所図会」などによれば、日蓮が記したと伝わる旗曼荼羅を伝えており、開帳などを通じて江戸の人々の崇敬を集めていたことがわかっています。

すみだ郷土文化資料館では、平成30年(2018)年から最教寺のご協力のもと、寺宝調査を行ってきました。その結果、現在の最教寺には、江戸時代の貴重な仏像の多くが大切に保存されており、墨田区の地域資料として重要な意義をもつことが明らかとなりました。

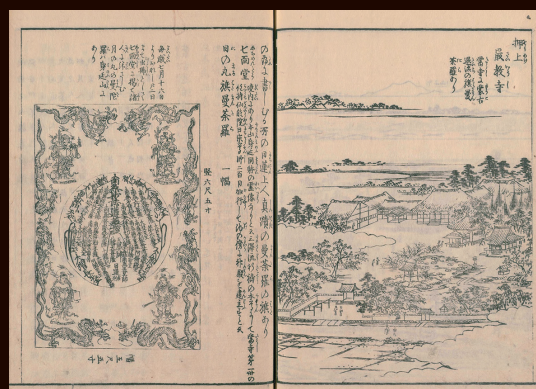
しくも、令和7年(2025)は、文化財保護法施行75周年にあたります。当館では、これを記念して、近年の調査成果をもとに、最教寺に伝わる押上時代の仏像や什物を紹介する展示を開催いたします。本展示は、それに先駆けて、江戸時代の絵図や浮世絵、地誌のほか、埋蔵文化財などから、現代によみがえる名所・最教寺の歴史と景観を紹介します。



「江戸名所四十八景 柳島妙見」
歌川広重2代/万延元年(1860)



「東都三十六景 亀戸天満宮」
歌川広重2代/文久2年(1862)



押上 最教寺「江戸名所図会」天保5～7年(1834～6)
(国立国会図書館デジタルコレクション)



大雲寺跡墨田区No.18遺跡 出土風景



- 都営浅草線「本所吾妻橋」駅下車、徒歩8分
- 東武線「とうきょうスカイツリー」駅下車、徒歩7分
- 都営バス「言問橋」停留所下車、徒歩2分
草39:金町駅～浅草寿町/業10:新橋～とうきょうスカイツリー駅
上26:亀戸駅～上野公園
- 都営バス「本所吾妻橋」停留所下車、徒歩8分
都08:錦糸町駅～日暮里駅/門33:豊海水産埠頭～亀戸駅/上23:平井駅～上野松坂屋



六道銭(大雲寺跡9号遺構出土)

関連講座

「発掘調査事例から見た本所の墓と埋葬された人々」
田口哲也氏(墨田区教育委員会 墨田区文化財保護指導員)
日時:令和7年8月23日(土) 13:30～15:30
場所:すみだ郷土文化資料館 研修室
金額:400円(入館料含む)
申込:7月1日(火)から受付。先着順、お電話にてお申し込みください。

すみだ郷土文化資料館

〒131-0033 東京都墨田区向島2-3-5
TEL 03(5619)7034 / FAX 03(3625)3431